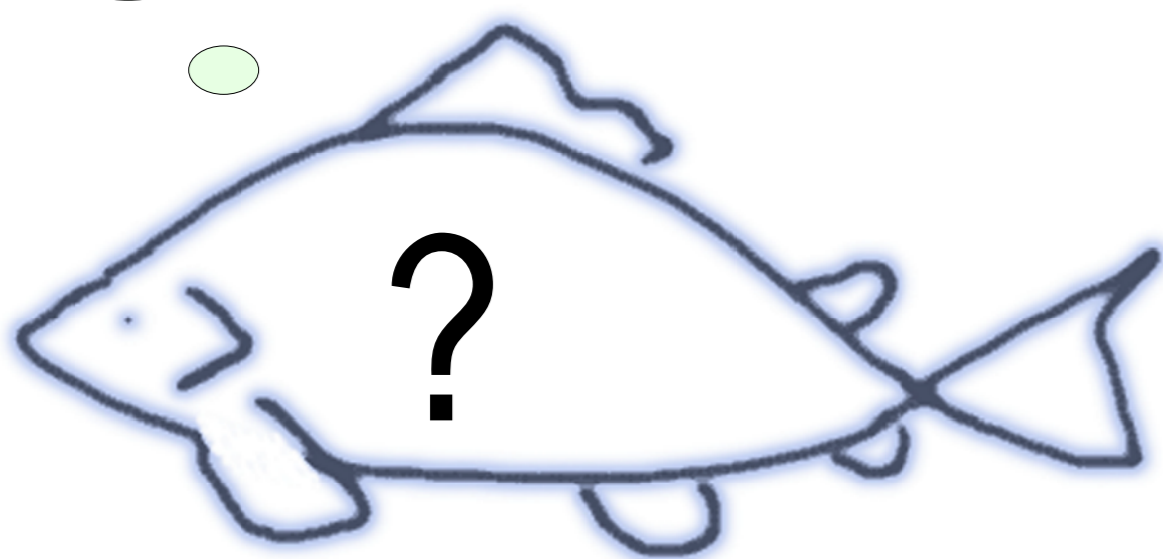


# 藻川のアユの調査についての報告

## 1 調べたこと

- ・ PCB
- ・ 鉛
- ・ カドミウム
- ・ 水銀
- ・ 水銀
- ・ ベンゾピレン
- (総水銀  
メチル水銀)
- ・ ダイオキシン類  
(PCBを含む)



\*この後「ダイオキシン類(PCBを含む)」を「ダイオキシン類」と表記します。

藻川で獲れたアユに含まれる化学物質の量を測定しました。

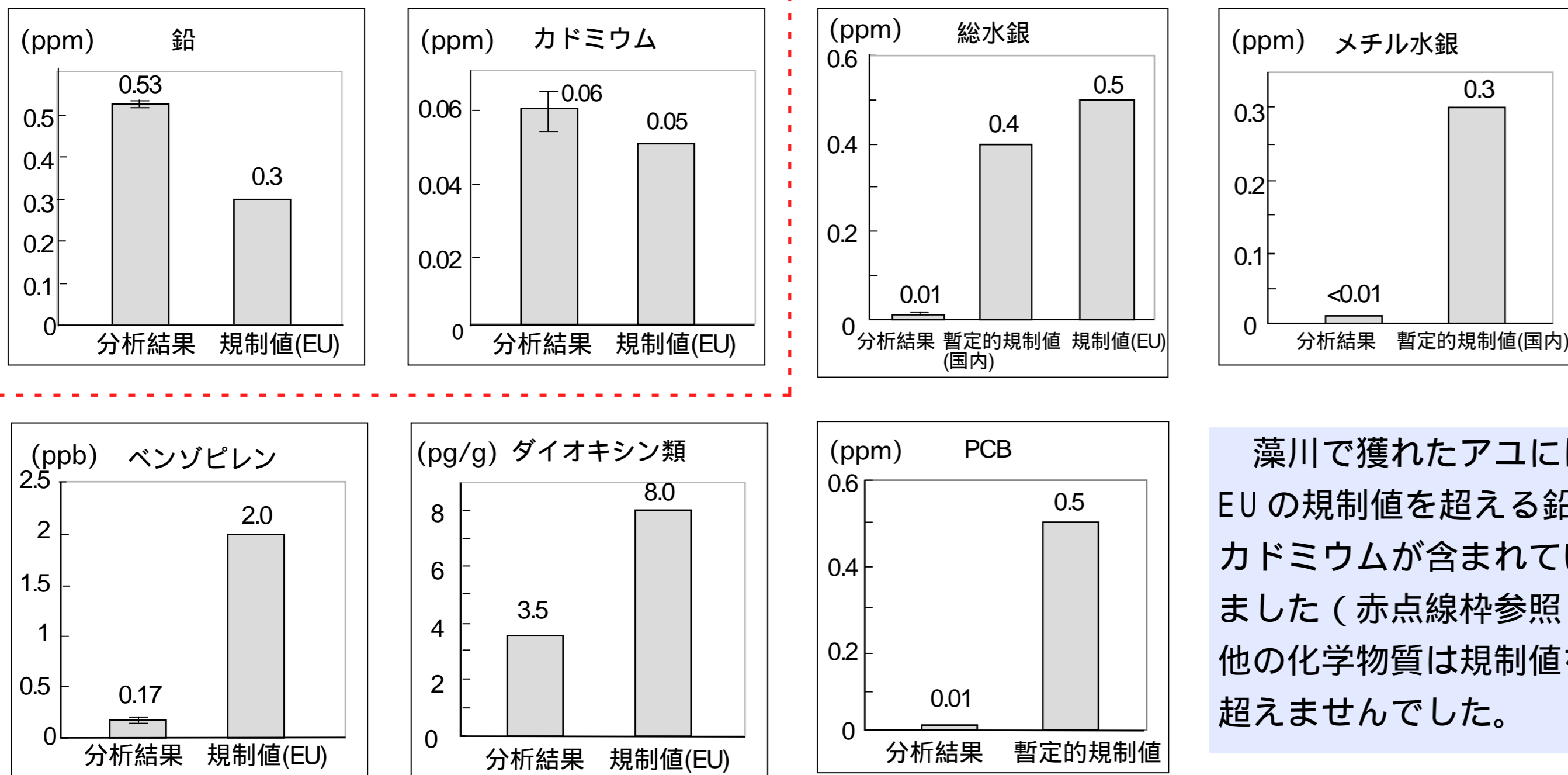
調べた化学物質は鉛、カドミウム、水銀2種類(総水銀、メチル水銀)、ベンゾピレン、ダイオキシン類(PCBを含む)です。この分析は、財団法人日本食品分析センターに依頼しました。

調べた化学物質は、魚に対して規制値が定められているものです。日本の規制値と、世界で最も食品の安全基準が厳しいと言われるヨーロッパ連合(EU)の規制値を参考にしました。

規制値って何？

耐容一日摂取量や耐容一週摂取量をもとに、日本人の魚の摂食量を考慮して求められた、魚に含まれる化学物質の上限の値。日本では、超過したら流通・販売しないよう自主的規制で措置が取られる。

## 2 結果



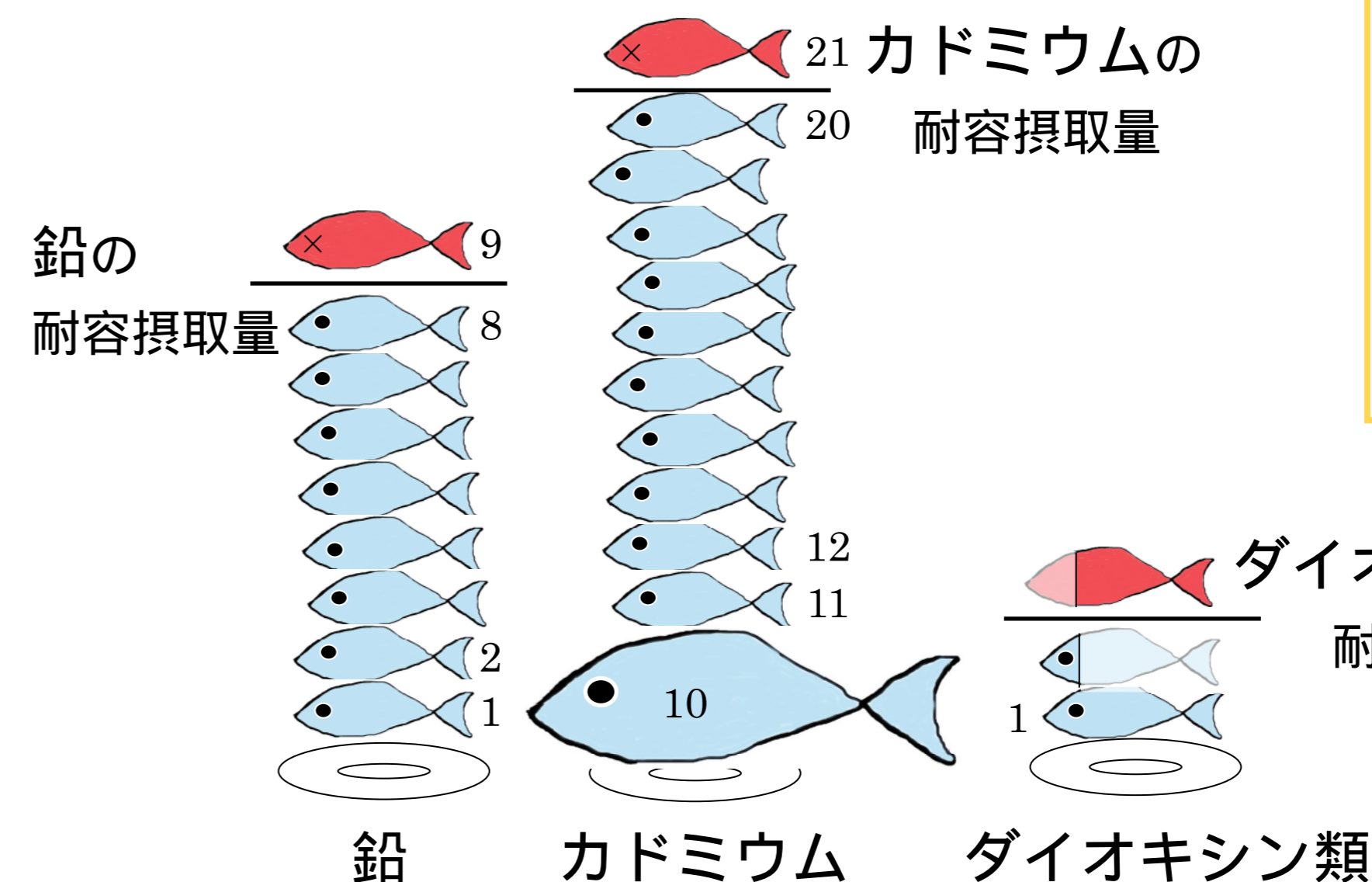
藻川で獲れたアユにはEUの規制値を超える鉛とカドミウムが含まれていました(赤点線枠参照)。他の化学物質は規制値を超えませんでした。

\* 1 国内外の規制値は魚(複数ある場合はアユ)に対するものを示しました。ただし、国内の暫定的規制値(S.48.7.23 厚生省環境衛生局長通達)では、河川産の魚介類は適用対象外とされています。今回はデータを見る上での参考として載せています。

\* 2 分析結果の試験依頼先：日本食品分析センター  
 試験成績書発行番号：第207081540-001号  
 第207081540-002号  
 第207081540-003号  
 試験成績書発行年月日：2007年09月05日  
 2007年09月08日  
 2007年09月19日

耐容一日摂取量(TDI)って何？

人が一生涯にわたって毎日摂取し続けても、健康に影響をおよぼさないと判断される量。TDIは、生涯にわたって取り込み続けた場合の健康影響を考慮した指標であり、一時的にこの値を多少超えても健康を損なうものではありません。



\* 今回の結果は、他の食べ物から鉛、カドミウム、ダイオキシン類を一切摂取しない場合の計算結果です。

藻川で獲れたアユを何匹食べれば耐容一日摂取量分の化学物質を食べることになるのかを計算しました。その結果、一日に8匹食べると耐容一日摂取量と同じくらいの鉛を食べることになりました。カドミウムの場合は20匹、ダイオキシン類の場合は1匹と1/5匹となることが分かりました。(体重60kgの人が1匹50gのアユ(食べる所が50gのアユ)を食べると仮定して計算しました。)

## 4 まとめ

この結果は藻川で獲れる全てのアユが規制値を超えるということを示すものではありません。日常的に藻川のアユを食べない限り、危険ではないと考えられます。

しかし、鉛とカドミウムでヨーロッパの規制値を超えたこと、今回調べた藻川のアユを一日に1匹と少し食べるとダイオキシン類の耐容一日摂取量になることは事実です。

また、日本は現在鉛の規制値導入を準備しています。国際的な機関で規制値が決まり次第、日本も導入する予定です。日本が導入を目指している規制値は0.2ppmです。まだ決定したわけではありませんが導入されれば、今回の藻川のアユは日本の規制値を超えるでしょう。

今回の分析の目的は、安全を保障するためでも、危険だということを示すためでもありません。これからどのようにするかを考えるために分析を行いました。この結果を冷静に受け止めて、今後どのようにするかを考えていきたいと思えます。藻川の魚を美味しく食べるためにこれからも、一緒に考えていきましょう。

大阪大学コミュニケーションデザイン・センター (CSCD)

大阪大学サイエンスショップ

565-0826 大阪府 吹田市千里万博公園1-1 大阪大学コミュニケーションデザイン・センター

URL <http://handai.scienceshop.jp/>

mail: [scienceshop@cscd.osaka-u.ac.jp](mailto:scienceshop@cscd.osaka-u.ac.jp)

ご意見をお聞かせください。